

テーマ

「文化芸術と多分野との連携による地域活性化」

文化芸術の価値や力は、社会の様々な問題や地域の課題を解決するヒントや糸口となることがあります。

このたび、まちづくり、産業、福祉等の各担当課が抱える課題や文化芸術の力を活用した先進的な事例の共有、自由な発想に基づくアイデア交換等を通じ、地域の活性化や魅力向上を図ることを目指し、検討会を立ち上げることとなりました。

第1回課題検討会

日時：令和7年2月26日(水) 13:30～16:30 (13:15 受付開始)

会場：静岡市産学交流センター「B-nest」プレゼンテーションルーム
(静岡市葵区御幸町 3-21 ペガサート6F) ※オンライン参加も可能

対象：市町・県職員（文化、まちづくり、移住・定住、観光、産業、福祉等の担当者等）

【プログラム】

- 講演「Uターンした天竜二俣での10年間の活動で見えてきたこと」
中谷明史氏（駅舎ホテル運営、リノベーション、情報発信事業等で活躍）
- トークセッション「天竜二俣のキーパーソンと考えるまちづくり」
中谷明史氏×鈴木一郎太氏（アーツカウンシルしずおかプログラム・ディレクター）
- 参加者によるグループワーク
コーディネート：アーツカウンシルしずおか

終了後、市内会場にて懇親会を予定！（希望者のみ）

【ゲスト】中谷 明史

浜松市中央区生まれ。中学校入学時から天竜区へ転出。静岡県立浜名高校卒業後、進学のため上京、東京農業大学で醸造学を学ぶ。卒業後はバー勤務を経て東京 R 不動産に参加。2015年、天竜区へUターン、飲食店「kissa&dining 山ノ舎」をオープン、その後は「浜松市天竜トライアルオフィス」の運営や、2019年、二俣本町駅の駅舎を使った一日一組限定の宿「駅舎ホテル INN MY LIFE」をオープン。その他、現在の居住地である天竜区熊地区にて移住促進などの地域振興活動を行う認定 NPO 法人耕の理事を務める。



【聞き手】鈴木 一郎太

（アーツカウンシルしずおか プログラム・ディレクター）

20代をアーティストとしてロンドンで過ごした後、帰国。企業や障害福祉団体等の依頼を受け、コミュニティスペースのコンセプトづくりなど、多様な人々のコミュニケーションを支援している。MFA(美術学修士)



<令和7年度までのスケジュール（予定）>

【第1回】	令和7年	2月26日（水）		会場は、東・中・西部を巡ります。
【第2回】	令和7年	5～6月頃		オンライン配信も実施予定！
【第3回】	令和7年	8～9月頃		各地で先進的な活動をされている
【第4回】	令和7年	11～12月頃		キーパーソンのお話も伺う予定です。
【第5回】	令和8年	1～2月頃		

<この検討会で目指すこと>

- 「文化と様々な分野との連携による地域活性化」を目指す取組についての事例研究
- 市町や部署の枠を超えた、職員同士の対話による継続的な交流と情報交換
- 各市町の文化行政等の状況把握による、県が行う施策のブラッシュアップ

<キーワード>

「空き家活用」「まちづくり」「観光」「移住」「ビジネス」・・・
一見、関連がないと思われるものであっても、アーツカウンシルしずおかの支援事業をはじめとして、文化芸術との連携による活性化事例が県内にも多く存在します。

【行政経営研究会とは】

共通する行政課題の解決に向け、県と市町が連携して取り組んでいくために、平成26年度から県及び全市町により設定しています。（所管：市町行財政課）県と市町が知恵を出し合い、様々な行政課題と一緒に取り組むことで、効果的に人々の暮らし満足度向上を目指すものです。

静岡県スポーツ・文化観光部文化局 文化政策課 政策調整班
054-221-2252 / arts@pref.shizuoka.lg.jp